

あめちゃん大作戦 IN 東大阪

「環境への取り組み」となると、まだまだ「そんな難しいもの、私にはそんなこと・・・」と敬遠されがちである。そこで、身近に感じてもらえる大阪のあめちゃんを啓発チラシにつけ配布する事で相手にチラシを受け取ってもらい易く啓発効果が上がることを目的に平成20年8月3日(土)から平成21年2月22日(日)の期間、6箇所のところで取り組んだ。

2008.8.2(土)16時からの「打ち水大作戦 IN 荒本 2008」に合わせて13:00からクリエイションコア東大阪で「アース」の上映会が行われ親子連れなどが参加。上映会の前に会場入り口で啓発あめを配布しながら水筒の活用も呼びかけた。あと続いて16:00から行われた東大阪市役所前での打ち水大作戦前に配布。合計300ヶ配布。

2008.8.15(金)18:30~19:00 六万寺にある梶無神社の夏まつりにて配布。梶無神社の御神木には毎年アオバズクが東南アジアなどから繁殖のため飛来し巣立っていく。私も3分程時間をいただき温暖化による自然破壊やチラシの内容を説明してから200ヶ配布。

2008.10.25(土)9:00~12:00 弥刀クリーンキャンペーンにて配布。クリーンキャンペーン最終地点の弥刀中学校校庭にテントをいただき、あめ配布と同時に東大阪エコアクション(環境家計簿)の啓発と取組み者の募集を行なった。300ヶ配布。

2008.12.13(土)9:30~12:00 成和小学校土曜クラブ14教室を回り、説明をしながら200ヶ配布。

2009.2.16(月)11:00~12:30 全国地球温暖化防止デーである16日に東大阪市役所周辺で毎月16日は温暖化防止デーであることも伝えながら430ヶ配布。

2009.2.22(土)10:00~12:00 八戸ノ里グランドマンション南側通路にて開催された「えこ楽市」で70ヶ配布。えこ楽市ではEM菌栽培による野菜を販売。チラシの地産地消とも繋がった。

なにわの伝統野菜あめは数種類あるが、今回はあえて河内の地に馴染みの深い「河内れんこんあめ」にしたことにより地産地消を多くの人に伝えられたと共に現在蓮根畑が無いこと、門真にも少なくなってきてる事まで話題が発展し地球温暖化防止を身近に感じてもらった。そして何よりあめちゃん効果は大きく、ほとんどの人にチラシを受け取ってもらえ、身近に出来るCO2削減方法の説明もできたので多くの人に伝わったと思う。また、チラシに「読んだあとは目につくところに貼っておいてくださいね」と記載し、このチラシもごみにならないよう工夫した。

今後の課題は野菜あめの場合、夏場は特に日持ちが悪く、購入後、配布期間が限られ少数の配布が難しい。また、食べ物であるがゆえにビニール袋に入れるが、そのビニールがごみになる事。今後の活動として機会を見つけて、これからも配布啓発していきたいと思う。

1本のリターナブルびんはペットボトル(500ml)に比べて69gのCO2を減らします。水筒はCO2をもっと減らす優等生です。

レジ袋1枚(10gのもの)断るだけで57gのCO2を削減できます。

「レジ袋 いりません!!」のひとつがごみとCO2を減らします。

買物には「マイバッグ」を持って行きましょう。

*リターナブルびんとは洗ってくり返し使うびんのことです。